

# どうなる石破政権

## 近づく参議院選挙を展望する

昨年末に実施された衆議院選挙において、自民党、公明党が大敗し、与党の過半数割れという新たな政治状況がうまれました。自公による長期政権により、国会審議は形骸化し、与党の内部決定を野党の反対にもかかわらず、スケジュール通り国会通過させ、時には強行採決を行う形が通例化してきました。

今回の状況は、国権の最高機関としての国会を文字通り熟議により再構築し、国民の声を反映させるチャンスが訪れたとも言えます。12月に開かれた臨時国会では少数与党としての石破自公政権が国民民主党、日本維新の会と政策協議を行い、補正予算を通過させましたが、自公の独裁的手法は影を潜めており、野党がまとまりさえすれば、さらに大

きな成果が得られるはずですが。トランプ政権の誕生や中国、ウクライナ戦争やイスラエル、そして、隣国韓国の動向など世界は激動の様相を呈していますが、今回は国内政治の動きを中心に今後の政治の動向を中心に講演会を開くことにいたしました。

講師にお招きした、龍崎孝先生は毎日新聞、TBSの政治記者を経て、現在は流通経済大学で教鞭をとっています。ジャーナリストとしての抱負な経験と現在も様々な人脈を通じた取材活動を続けており、国内政治動向のホットな情報を講演していただけることになりました。関係する皆様の奮ってのご参加を期待します。

[講演会資料代 500円 会員無料]

★ お申込は自治研センターへ 電話043-225-0020

FAX 043-225-0021

☆ 2月14日（金）までにお申し込み下さい

## 自治研センター 講演会のご案内

- 日時：2025年3月1日（土）  
10時15分～12時
- 会場：千葉県教育会館本館 203会議室  
千葉市中央区中央 4-13-10

### <講演 講師紹介>

龍崎 孝 氏  
(りゅうざき たかし)



<現職> 流通経済大学共創社会学部教授

<略歴>

1960年、神奈川県生まれ。千葉県立千葉高校、横浜国立大学教育学部を卒業後、毎日新聞社に入社。その後、TBSテレビの政治部部長、解説委員等を経て、2016年4月に流通経済大学の教授を務め、現在に至る。

主な著作として、『小沢一郎の逆襲』サンデー出版局、『首相官邸』文藝春秋社、『復興いまだ進まず』月刊文藝春秋、など多数。

- 主催：千葉県地方自治研究センター
- 共催：自治労千葉県本部
- 後援：連 合 千 葉